

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 益田清風高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年1月30日(木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 益田清風高等学校 会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者
会長 森本翔太郎 馬瀬建設株式会社 専務取締役
委員 中村 好一 下呂市教育長
皆越 眞佐代 NPO飛騨小坂200滝
向野 優子 NPOみらいろ理事長
小池 雅之 下呂市観光商工部長(欠席)
山下 久美子 下呂看護専門学校長
佐野 ちあき ホテルくさかべアルメリア職員
長尾 伴文 ぎふ夢教育応援隊
前田 芳隆 前小坂中学校長
栃井 政文 育友会長

学校側 小田 正人 校長
青木 穰 事務長
石丸 浩国 教頭
井田 誠 教務主任
打保 圭史 生徒指導主事
上田 界堂 進路指導主事
角川 公太 特別活動部長
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 総合学科学習成果発表会参観
 - (2) 教育活動全般について
 - ・進路状況について
 - ・部活動成績について
 - ・自校評価について
(学校関係者評価)
 - ・学習指導
 - ・生徒指導
 - ・進路指導
 - ・特別活動
 - (3) 次年度以降の委員について
 - ・その他
 - (4) スクールミッションについて

別紙様式3

- 意見1：学習成果発表会を中学生向けに開催し、生徒自身の生の声で高校の魅力を伝えることが効果的ではないか。
- 意見2：地域に出て活動する機会を設けるべきではないか。
- 意見3：地域を教育資源として活用し、学業だけでなく、地域と共に成長できる機会を提供してほしい。
- 意見4：清風高校で身に付けたい力を、地域全体でサポートできる体制を構築してほしい。
- 意見5：中学校1年生は小学校で後輩をまとめる経験をしていたり、中学3年生は校則などについて議論したりしているので、1年生を「一番下」として扱うのはもったいない。
- 意見6：学習成果発表会を中学2年生に見せるなど、小・中学校との情報交換や交流を密にすることで、高校の魅力を効果的にアピールできるのではないか。
- 意見6：炊き出し等のイベントに高校生が主となり、小・中学生と交流することで、高校生の姿を見てもらう機会にしてほしい。
- 意見7：中学1年生を対象としたオープンスクールを開催し、高校の学科などの取組についてはやい段階から保護者にも情報提供してほしい。
- 意見8：中学校での企業体験先企業を高校でも同じ企業で継続するようにし、生徒の地元就業意識を高めてほしい。
- 意見9：大学や専門学校との連携を強化し、視察機会を増やすことで、生徒の進路選択を支援してほしい。大学研究室との連携等も積極的に行ってほしい。
- 意見10：高校生が中学生の教室へ行って指導する機会を設け、生徒同士の学びを深めるとともに、高校生にとっても良いアピールになるのではないか。
- 意見11：勉強だけでなく、部活動を目的として高校を選ぶ生徒もいるため、部活動への参加機会を増やしてほしい。
- 意見12：ICT活用について、活用方法だけでなく実施評価も授業に組み込まれており評価できる。
- 意見13：授業内容や活動は素晴らしいので、地元の中学生へアピールする機会を設けてほしい。
- 意見14：「うまいもん甲子園」で購入した商品は、生徒が楽しみながら作った様子が伝わってきた。大変おいしくいただいた。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、スクールミッションの最終確認と学校経営計画について、各分掌担当者から1年間の取り組み状況、達成状況、成果と課題の説明が行われた。今年度は、本校の生徒と学校のスクールミッションについて、現状を把握し、目指す学校像を明確にした。さらに、目指す生徒像を定めることで、組織と地域が一体となって取り組み、年間を通して得られた成果と課題を翌年度に活かせるようなPDCAサイクルを構築し、循環型の教育活動を推進することについて具体的な意見が提言された。